

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8676	時系列モデルについて	
平成2	8677	因子分析の手法とその応用	
平成2	8678	計量経済特論	
平成2	8679	アンケート調査に於ける手法と解析	
平成2	8680	EC先進国への日本軍の進出における日本企業の最適政策	
平成2	8681	小型日本モデルのSASを使った実証分析	
平成2	8682	SASによる回帰分析	
平成2	8683	回帰分析	
平成2	8684	疎外論の止揚としての物象化論	
平成2	8685	マーシャルの経済学と生物学的社会観 -自然は飛躍せず-	
平成2	8686	オーストリア学派における貨幣理論の展開	
平成2	8687	ヘンリー・ジョージの自由貿易論と現代	
平成2	8688	マネリストの経済学とケインズの経済学	
平成2	8689	経済学における企業者論 -シュンペーターとマーシャル-	
平成2	8690	景気循環論	
平成2	8691	情報サービス産業の統計的分析	
平成2	8692	計量経済学における一考察 -日本経済のマクロモデルの推定-	
平成2	8693	円相場の決定要因についての一考察	
平成2	8694	日本経済の展望	
平成2	8695	金融市場自由化の経緯と展望	
平成2	8696	金融の国際化とグローバル化	
平成2	8697	ドイツ統一と日本	
平成2	8698	東欧改革における経済変動	
平成2	8699	ドルを基軸通貨とする国際通貨体制についての考察	
平成2	8700	日本の開国と世界	
平成2	8701	戦後の日ソ貿易と経済協力	
平成2	8702	商業革命期におけるイギリスの生活革命	
平成2	8703	アヘン三角貿易とアジア	
平成2	8704	両大戦間期の日本資本主義	
平成2	8705	17世紀における日本人の海外進出と南洋日本町の盛衰	
平成2	8706	「切り裂きジャック事件」と19世紀末ロンドン	
平成2	8707	国際連盟の平和維持機能	
平成2	8708	渋沢栄一論	
平成2	8709	ナポレオン・ボナパルト論 -台頭と陥落-	
平成2	8710	技術革新の経済学	
平成2	8711	土地問題の経済学	
平成2	8712	情報の制度的メカニズムについて	
平成2	8713	「日本的企業モデル」をめぐって	
平成2	8714	寡占均衡と寡占企業の行動について	
平成2	8715	広告の経済効果	
平成2	8716	日本経済における製造業の役割	
平成2	8717	労働力の都道府県間移動	
平成2	8718	日本の米の経済変動分析	
平成2	8719	観光経済学	
平成2	8720	日本企業による海外直接投資の拡大要因および海外進出における諸問題の考察	
平成2	8721	日米貿易不均衡のマクロ計量分析	
平成2	8722	コメの輸入自由化	
平成2	8723	農業市場解放問題の展望	
平成2	8724	政策協調と日米構造協議 -日米構造協議の役割-	
平成2	8725	米の自由化と日本稲作の今後	
平成2	8726	世界経済の地域主義化とアジア・太平洋地域協力	
平成2	8727	多国籍企業の実情と直接投資	
平成2	8728	国際複占市場における輸出補助金の効果	
平成2	8729	農産物自由化の国際的背景	
平成2	8730	購買力手価説の理論と実証	

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8731	累積債務問題－IMFコンディショナリティの意義とその評価－	
平成2	8732	東西ドイツ統一問題と統一がEC統合に与える影響について	
平成2	8733	金融自由化における証券業務規制への影響	
平成2	8734	経済大国日本の国際協調	
平成2	8735	実証主義を超越することとは何か－科学哲学方法論による近代的「知」についての考察－	
平成2	8736	世界的な金融技術の発展と諸問題	
平成2	8737	為替レート決定の理論	
平成2	8738	金融自由化とマネーサプライ政策	
平成2	8739	金融革新	
平成2	8740	賃金の硬直性と失業	
平成2	8741	戦後日本の株価変動と証券市場の発展	
平成2	8742	公的金融仲介－その問題点と解決策－	
平成2	8743	スキーヤー、スキー場、地域の経済学的分析	
平成2	8744	金融自由化と預金金利自由化の影響	
平成2	8745	為替レート決定の諸原理とその有効性	
平成2	8746	金融自由化の下における信用秩序維持の方策について	
平成2	8747	東南アジアの経済発展の可能性について	
平成2	8748	EC統合と金融の自由化	
平成2	8749	経済発展理論	
平成2	8750	地球温暖化とエネルギー政策	
平成2	8751	北海道と経済発展	
平成2	8752	人口高齢化による影響とその対策	
平成2	8753	リゾート事業の将来	
平成2	8754	理想的な医療費抑制方法とは何か	
平成2	8755	アジアの発展と日本の役割	
平成2	8756	日本のフィナンステクノロジーに今とめられるもの	
平成2	8757	北海道経済活性化への道	
平成2	8758	ANIES, ASEANにみる日本的企業経営移転	
平成2	8759	日本自動車企業の海外グローバル展開におけるヨーロッパ進出と現地化戦略	
平成2	8760	外国人労働者受入れの現状と経済分析	
平成2	8761	日本企業のハンガリー進出	
平成2	8762	金融自由化による銀行戦略	
平成2	8763	ドイツ統合と旧東ドイツ経済の再建－中央計画経済と市場経済－	
平成2	8764	パックス・コンサルティスの時代－ポスト・パックス・アメリカナ－	
平成2	8765	日本経済成長における社会主義的要素	
平成2	8766	西ドイツ企業の行動と経営環境	
平成2	8767	コンピュータ業界－日本市場での国産メーカーの優位性－	
平成2	8768	会社本位制	
平成2	8769	戦後日本経済の成長要因	
平成2	8770	日本市場における外資企業－外資企業のとるべき姿勢、成功のためのキーファクター日本市場は本当に参入困難な市場であろうか－	
平成2	8771	小樽市観光産業の経済波及効果	
平成2	8772	現代自動車産業論批判	
平成2	8773	経済改革と社会主義企業	
平成2	8774	現代人のリアリティとレトリック－その深層－	
平成2	8775	QCサークルの実際	
平成2	8776	日本プロ野球における球団経営の実態－ビジネスとしての球団経営－	
平成2	8777	経営組織の環境適応－我が国製造業の実証分析－	
平成2	8778	スポーツ・ビジネスのあるべき姿と電通の役割	
平成2	8779	QCをどう評価すべきか	
平成2	8780	低成長時代における要員管理強化	
平成2	8781	過労死と日本的労務管理	
平成2	8782	理想的な日本企業のあり方	
平成2	8783	小集団活動の現状	
平成2	8784	日本的経営慣行の今後の行方	
平成2	8785	日本中小企業における労務管理の実態	

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8786	海外日本企業の中の日本的経営	
平成2	8787	ペレストロイカによるソ連経済の動向と行方	
平成2	8788	効果的なリーダーシップの研究	
平成2	8789	費用・収益	
平成2	8790	現代日本における法人税についての考案	
平成2	8791	減価償却論 -わが国に見る償却政策の検討-	
平成2	8792	M&A -その企業貿易-	
平成2	8793	投資家保護の立場から見た連結財務諸表の必要性	
平成2	8794	なぜ粉飾決算を行うのか	
平成2	8795	リース会計	
平成2	8796	リース会計 -ファイナンス・リースの取扱について-	
平成2	8797	減価償却制度に関する一考察	
平成2	8798	原価計算基準についての一考察	
平成2	8799	不確実性と損益分岐点分析	
平成2	8800	直接原価計算の歴史的考察	
平成2	8801	直接原価計算と外部報告	
平成2	8802	管理会計の生成と確立	
平成2	8803	利益計画に関する一考察	
平成2	8804	標準原価管理と予算管理についての一考察	
平成2	8805	現代原価管理の特徴	
平成2	8806	不確実性下のCVP分析	
平成2	8807	無印良品 -ノーブランドからブランドへそして㈱良品計画に発展した要因とは何か-	
平成2	8808	歯磨を考える	
平成2	8809	マーケティングにおける色彩の役割	
平成2	8810	北海道における納豆市場の伸び -アンケートの実施及び解析-	
平成2	8811	ミドリリンク剤市場の成長	
平成2	8812	ギフト市場における贈答者行動	
平成2	8813	使い捨てカメラ市場での成功要因分析	
平成2	8814	NTTと新電電の競争状況 -電話市場の現状を探る-	
平成2	8815	日本の市場特性とクーホン広告	
平成2	8816	ソフトとハードの統合時代	
平成2	8817	セゾングループの成長戦略	
平成2	8818	産業場面におけるY-G性格検査の応用	
平成2	8819	ホーガース「ジン横丁」に見られるイギリスのアルコール問題	
平成2	8820	幻覚剤	
平成2	8821	日本とフランスのアルコール飲料に対する意識の相違	
平成2	8822	AAの活動状況とその効果 -日本におけるアルコール背負う問題への対応-	
平成2	8823	ビート節酒令について	
平成2	8824	広がりゆく分裂病圏	
平成2	8825	禁酒法にみるアメリカ社会	
平成2	8826	現代社会における食生活の変化に関する一考察	
平成2	8827	レーガミックス8年間の動き	
平成2	8828	円の戦後史と金融の国際化要因	
平成2	8829	企業集団における銀行の地位 -系列融資を中心に-	
平成2	8830	拡大する生保金融業務	
平成2	8831	途上国債務危機の新展開	
平成2	8832	アメリカの衰退と多国籍企業	
平成2	8833	社債の無担保化について	
平成2	8834	ポントからドルへの基軸通貨交替とその後の基軸通貨ドル	
平成2	8835	円高に対する日本の対応	
平成2	8836	為替リスクとヘッジ	
平成2	8837	業態自由化について -証取法65条の行方-	
平成2	8838	為替相場決定理論の分析	
平成2	8839	米国における金融自由化と金融機関経営の展望	
平成2	8840	金融の自由化 -規制からの自由化と信用秩序の維持-	

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8841	日本の金融制度の特色とその変化	
平成2	8842	企業再編成	
平成2	8843	アメリカにおけるM&A活動の推移と有益性	
平成2	8844	ユーロ・カレンシー市場	
平成2	8845	主成分分析 -SASによる統計処理の解釈-	
平成2	8846	主成分分析法による財務データの分析	
平成2	8847	SASによる主成分分析	
平成2	8848	価格決定考	
平成2	8849	損益分岐点分析における線形計画法の導入	
平成2	8850	財務比率分析における統計的手法とSASによるその実践	
平成2	8851	SASによる経営分析	
平成2	8852	経営分析における統計的手法とその実践	
平成2	8853	管理会計におけるコスト・ベネフィット分析 -単純回帰分析・重回帰分析-	
平成2	8854	SASを使った財務比率分析及びその統計的手法について	
平成2	8855	多変量解析法による経営分析	
平成2	8856	価格決定の理論と分析方法	
平成2	8857	信号機の設置と国の損害賠償責任	
平成2	8858	事情判決	
平成2	8859	町名変更取消訴訟における原告適格の存否	
平成2	8860	悪質業者に対する知事の監督責任	
平成2	8861	国家賠償責任と費用負担者 -平成元年10月26日最高裁判決を中心として-	
平成2	8862	学校事故における教師の安全注意義務 -課外クラブ活動を中心として-	
平成2	8863	職務質問に付随して行われる所持品検査の限界について	
平成2	8864	警察権の行使と損害賠償 -警察等による有形力の行使と国家賠償請求要件より-	
平成2	8865	独占禁止法と行政指導 -石油連盟価格カルテル事件を中心として-	
平成2	8866	情報公開制度の確立	
平成2	8867	取材源の秘匿と公正な裁判	
平成2	8868	行政指導と建築確認の留保 -その違法性と限界-	
平成2	8869	行政権の行使と信頼保護	
平成2	8870	雇用における男女平等	
平成2	8871	知る権利と情報公開制度 -その問題と展望-	
平成2	8872	部落問題と法の下での平等	
平成2	8873	裁判を受ける権利 -その実質的保障について-	
平成2	8874	報道機関の権利と公共的規制	
平成2	8875	教育を受ける者の権利	
平成2	8876	外国人の基本的な人権	
平成2	8877	報道の自由 -適正報道のゆくえ-	
平成2	8878	信仰による輸血拒否をめぐる諸問題	
平成2	8879	主権原理と国民主権	
平成2	8880	違憲審査制度	
平成2	8881	情報公開制度	
平成2	8882	在日外国人の人権 -定住外国人の人権保障について-	
平成2	8883	上場株式における「特ニ有利ナル発行価額」	
平成2	8884	株券の除権判決における株券喪失者と善意取得者の利益衡量	
平成2	8885	定款による株式譲渡制限に関する商法改正の考案	
平成2	8886	大規模小売店舗の出店規制と地域計画	
平成2	8887	流通系列化と独占禁止法	
平成2	8888	日本の流通系列化の研究	
平成2	8889	独占禁止法における国際取引規制の検討	
平成2	8890	カルテルの研究	
平成2	8891	学生運動を顧みて商大生に思う事	
平成2	8892	日本の政府開発援助の実態	
平成2	8893	日本の自動車メーカーの国際的戦略	
平成2	8894	日本財閥の解体と現在の企業系列について	
平成2	8895	企業集団について	

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8896	プリペイド・カードに関する法規制	
平成2	8897	連帯債務の法的責任	
平成2	8898	企業の不法行為責任と民法715条	
平成2	8899	法的整理及び私的整理との関連における債権者取消権の現代的機能についての考察	
平成2	8900	手形行為の表見代理と手形法8条	
平成2	8901	手形法16条2項の善意取得の問題点	
平成2	8902	株式会社の取締役の第三者に対する責任の一考察	
平成2	8903	代理貸付における法的問題点 -受託金融機関の保証を中心として-	
平成2	8904	GATTの国内的効力 -GATTの国内的効力の排除要因を中心として-	
平成2	8905	GATTにおける途上国問題	
平成2	8906	GATTと知的所有権	
平成2	8907	GATTと計画経済	
平成2	8908	カナダ投資規制法にみる外国直接投資の取扱とその展望	
平成2	8909	EC統合とその通商政策	
平成2	8910	外交特権及び免除に関する一考察	
平成2	8911	国際海峡における軍艦の通過通航制度の研究	
平成2	8912	船舶起因による海洋汚染と国際法	
平成2	8913	国際農業開発基金の研究 -新国際経済秩序の視点から-	
平成2	8914	医療過誤における過失犯論の一考察 -北大電気火災事件を中心に-	
平成2	8915	脳死問題を考える	
平成2	8916	原因において自由な行為	
平成2	8917	死刑制度の検討	
平成2	8918	未必の故意	
平成2	8919	正当防衛における防衛行為の相当性	
平成2	8920	方法の錯誤-故意の個数について-	
平成2	8921	緊急避難に関する考察	
平成2	8922	教唆犯の錯誤	
平成2	8923	公共危険罪とされる放火罪に関する一考察	
平成2	8924	正当防衛における防衛意思の要否について	
平成2	8925	因果関係論	
平成2	8926	誤想防衛論	
平成2	8927	民法48条と銀行取引	
平成2	8928	間接正犯の正犯性	
平成2	8929	婚姻後の不貞行為における損害賠償請求の考察	
平成2	8930	譲渡担保の法的構成と一考察	
平成2	8931	債権者代位権における無資力理論の検討	
平成2	8932	416条と損害賠償の範囲	
平成2	8933	短期賃借権の保護	
平成2	8934	立木登記と明認方法	
平成2	8935	債権者取消権の法的構成	
平成2	8936	借家権の相続	
平成2	8937	抵当権のおよぶ目的物の範囲 -従物にもおよぶか-	
平成2	8938	仮登記担保論の変遷	
平成2	8939	コンピュータ保護法制度の研究	
平成2	8940	歴史的環境の保護について	
平成2	8941	医療過誤訴訟の研究	
平成2	8942	民事介入暴力の被害者予備軍が知らなくてはならないこと	
平成2	8943	隣人訴訟にみる法と日本人の関係	
平成2	8944	地価高騰と土地税制	
平成2	8945	金融と取引紛争-消費者信用における問題とその考察-	
平成2	8946	民事裁判の審判に関する研究	
平成2	8947	開発計画と住民参加	
平成2	8948	プライバシー・個人情報保護に関する法的救済	
平成2	8949	集団訴訟事件と訴訟上の和解	
平成2	8950	法における他者の位相	

小樽商科大学 卒業論文 (平成2年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	8951	航空機事故の法的問題	
平成2	8952	製造物責任 -わが国における現状と製造物責任法-	
平成2	8953	スパイクタイヤの法規制	
平成2	8954	権利自由の拘束力	
平成2	8955	将来給付の訴えについて -大阪空港夜間飛行禁止請求事件における将来給付の訴えを中心に-	
平成2	8956	医療過誤訴訟法における鑑定とその評価	
平成2	8957	当事者の確定	
平成2	8958	国際裁判管轄の決定のための一考察	
平成2	8959	医師の説明義務と患者の承諾	
平成2	8960	我が国において定期金賠償を命ずることの問題点	
平成2	8961	拡散利益の集団的救済	
平成2	8962	民事訴訟における後遺症等による追加賠償請求の余地はあるか	
平成2	8963	コンピュータ社会の危険性	
平成2	8964	北海道の冬タイヤを考える	
平成2	8965	人工知能	
平成2	8966	これからの女性の生き方	
平成2	8967	エキスパートシステム	
平成2	8968	家電が暮らしに与える影響の一考察	
平成2	8969	ファジー理論	
平成2	8970	混合戦略によるゲームの解法	
平成2	8971	企業変革とコミュニケーション戦略	
平成2	8972	経営戦略と情報技術 -競争優位の視点から見た情報システムのあり方-	
平成2	8973	現代の経営戦略 -その課題と展望-	
平成2	8974	価値創造のマネジメント -ネットワーク社会における組織と戦略についての考察-	
平成2	8975	企業組織の文化的側面 -組織文化論へのアプローチ-	
平成2	8976	戦略的情報システム -構築へのアプローチ-	
平成2	8977	コンピュータセキュリティについての研究	
平成2	8978	Post Scriptについての研究	
平成2	8979	学生食堂の待ち行列シミュレーション	
平成2	8980	ソーティングアルゴリズムの解析と評価	
平成2	8981	人工知能とエキスパートシステム	
平成2	8982	結び目理論とそのコンピュータ処理	
平成2	8983	組合せ最適化問題に対する分岐限定法	
平成2	8984	ファジー理論とその応用	
平成2	8985	C++における関係データベースの構築	
平成2	8986	動的データ構造 -木構造を中心に-	
平成2	8987	数量化理論とSASによる数量化 I 類	
平成2	8988	Turbo Pasmal版LELISPの改良	
平成2	8989	Modified Tiny Lisp	
平成2	8990	Cobb-Douglas生産関数のエキスパートシステム	
平成2	8991	各種ソート法の効率に関する研究	
平成2	8992	ゲーム木探索の効率に関する研究	
平成2	8993	英文綴検査・修正法に関する研究	
平成2	8994	Hamming符号のシミュレーションと考察	
平成2	8995	データベースシステムの効率化に関する研究	
平成2	8996	回帰プログラムの高速化	
平成2	8997	n人協力ゲームの特性関数について	
平成2	8998	シャープレ値と重みつき多数決ゲーム -その理論と応用-	
平成2	8999	特性関数形、n人協力ゲームの解 -安定集合-	
平成2	9000	協力ゲームの解とその応用	
平成2	9001	ゲーム展開前の評価について -シャープレ値について-	
平成2	9002	ゲーム理論と人間の行動論的側面	
平成2	9003	Prisoner's Dilemma.	
平成2	9004	シャープレ値における基本理論と実証的研究	
平成2	9005	ゼロ和2人ゲーム	

小樽商科大学 卒業論文（平成2年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成2	9006	Sequential Game	
平成2	9007	有限ゼロ和2人ゲーム及び非ゼロ和2人ゲームにおける理論の研究	
平成2	9008	非協力ゲームにおける生産システムの最適化	
平成2	9009	2階層生産計画問題	
平成2	9010	分数心理学による生産管理情報システム	
平成2	9011	コンピュータ支援によるビジネスゲームの開発	
平成2	9012	MRPにおける多レベルロットサイズ決定問題	
平成2	9013	コンピュータ支援工程設計	
平成2	9014	知的生産システム	
平成2	9015	シミュレーションによるフレキシブル生産システムのスケジューリング	
平成2	9016	多段階生産システムにおける最適負荷計画	
平成2	9017	残業計画を考慮した負荷計画問題	
平成2	9018	A vocabulary analysis of milestone I, II, II B :Word index and frequency List	
平成2	9019	Narrative method in Heart of darkness	
平成2	9020	A vocabulary analysis of mother goose.	
平成2	9021	Emily Bronte's philosophy of love in wuthering heights.	
平成2	9022	Wordindex and some vocabulary analysis of high school textbooks	
平成2	9023	A vocabulary analysis of mainstream, I, II, II B : Word index and frequency List.	
平成2	9024	A vocabulary nanlysis of Hemingway's the old man and the sea and Islands in stream.	
平成2	9025	Linguistic effectes of Japanese on Learning English	
平成2	9026	Multiple meanings of it.	
平成2	9027	A Study of the passive voice in English	
平成2	9028	English teaching in Japan	
平成2	9029	Modal auxiliaries and their synonymous expressions	
平成2	9030	On negative sentences in English	
平成2	9031	Study on La belle dame sana merci	
平成2	9032	A Study on mother goose songs.	
平成2	9033	The evil power concealed in human mind in lord of the flies	
平成2	9034	Our problem in Lord of the flies.	
平成2	9035	What Gatsby wqnts from his heart	
平成2	9036	ADONAIS BY PERCY BYSSHE SHELLEY AND THE ROLLING STONES.	
平成2		「9037-9039」は修士論文	